

全国市民 アクション ニュース

No : 14

2019年6月28日

〒101-0064

東京都千代田区神田猿樂町 1-2-3
錦華堂ビル4A

■電話 03-5280-7157

■FAX 03-5280-7158

■Mail : info@kaikenno.com

発行：安倍9条改憲NO！
全国市民アクション

年金報告書隠すな！安倍改憲NO！参院選勝利！

6・19 国会議員会館前行動に 3500 人



駆けつけた国会議員に
署名を手交する代表者たち

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」は、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」との共催により、6月19日、45回目となる19日行動「年金報告書隠すな！安倍9条改憲NO！辺野古新基地断念！参院選勝利国会議員会館前行動」を開催しました。集会には約3500人が参加し、暴走政治を続け、改憲を狙い続けている安倍政権と全面対決し、参院選必勝を確認し合いました。また、集会の前段に6月10日から19日までに国会へ提出した3000万署名119万筆分のうちの一部を集会に駆けつけた国会議員に手交しました。

集会は、戦争をさせない1000人委員会の山本圭介さんの司会で進行、主催者挨拶は憲法共同センターの長尾ゆりさんが「3000万署名を軸とした市民の運動と野党との共同が改憲への動きにブレーキをかけてきた。また、来るべき参院選に必ず勝利して安倍改憲を断念させ、安倍政権を終わらせましょう。」と訴えました。



各政党からは沖縄の風の糸数慶子、社会民主党の福島瑞穂、日本共産党の井上哲士、立憲民主党の小川敏夫の各参院議員が駆けつけ、口々に安倍政権打倒に向け、参院選での必勝を訴えました。



市民連合の山口二郎法政大学教授は立憲野党との政策合意を実現し、参院選一人区の32選挙区で野党一本化が達成されたことにふれながら、「私たちは心をつなげて、安倍政権を終わらせるために参院選で頑張ろう！」と訴えました。





「TPPプラスを許さない！全国共同行動」の山田正彦さんは「TPPは8000ページ30章からなる条約で、この条約に沿って国内法が次々に変えられている。戦争法も産軍複合体による支配につながるものだ。こんどこそ、安倍政権を打倒しなければならない！」と訴えました。



弁護士の坏由美子さんは「女性差別の厚い層は【永久凍土】とも言えるべきもので、1ミリたりとも溶けていない。均等法から30年、法律上は進化しながらも現場の実態は女性への差別・セクハラなどは一向に改善されていない。行政・司法・立法の担い手側の意識は【永久凍土】の典型だ。男女を問わず、男らしく・女らしくではなく、自分らしく生きられる世の中にするために、ともに頑張りましょう！」と呼びかけました。



武蔵野美術大学の志田陽子教授は前橋地裁での安保法制違憲訴訟で証人尋問に立ったことに触れながら、もし憲法が改悪されてしまえば、安保法制は違憲でなくなり、違憲としての安保法制によって被害をうけたとして訴訟に立ち上がった原告たちの頑張りや、こうやってたたかっている皆さんの頑張りも無駄になってしまう。そうならないためにも頑張りましょう！」と訴えました。



「止めよう辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の木村辰彦さんは、5月25日、辺野古新基地建設反対の全国統一行動に立ち上がった全国のたたくいと一緒
に、国会前行動を成功させたことに触れながら、「5・25の全国行動は沖縄の人々を大いに励ました。工事は大幅に遅れ、軟弱地盤の問題などもあって事実上工事は不可能なことが明らかになっている。辺野古の新基地問題は沖縄だけの問題ではなく、日本の地方自治、民主主義の問題であり、環境、平和の問題でもある。沖縄と本土が手を結び、参議院選挙に勝利し、辺野古新基地建設を絶対に止めていきましょう！」と訴えました。



最後に、9条壊すな！実行委員会の高田健さんが行動提起を行い、7・3市民連合新宿西口街頭宣伝行動へ参加を提起し、参議院選挙勝利に向けて取り組みを強めることを訴えました。



安倍9条改憲NO！3000万署名 各地の取り組み

(市民アクションホームページ「各地の取り組み」からの抜粋)

長野県

3000万人署名、有権者の半数に到達
———栄村実行委員会

長野県最北端に位置する下水内郡栄村（人口1800人余）では、18年5月に有権者の4分の1（500人）を突破し、このほど有権者の半数800人に到達しました。人口比では43.8%です。

栄村で3000万人署名を取り組んでいるのは、農民組合、新日本婦人の会、共産党支部、元村長高橋彦芳さんが代表をつとめ、運動の事務局ともなっている栄村九条の会で構成する「**戦争反対・憲法を守る栄村実行委員会**」です。署名の到達は、毎月19日のアピール行動、道の駅周辺での宣伝などを続ける中で得られたものです。また農繁期に入っている5月からは、朝8時からが集まりやすいとして、10～15人の参加でスタンディング宣伝を続けています。

大阪府

中間目標2万人を突破
———大阪市西淀川区の署名実行委員会

大阪市西淀川区の「**戦争あかん！西淀川実行委員会**」の3000万人署名の到達は、5月15日の集約で2万24人となり、同実行委員会が目標とする4万人（同区の有権者7万9000人の過半数）の中間目標を突破しました。

同実行委員会はこれまで、毎月6と9のつく日にJR塚本駅、御幣島駅、阪神千船駅、姫島駅の駅頭で合計30数回の署名宣伝行動を続けています。

また、月1回、地域を決めて全戸訪問を繰り返しています。

同実行委員会に参加する団体には、実行委員会が「**中たるみを打開しよう**」と呼びかけました。これに応え団体構成員が奮起、保育園や学童保育所、民医連の関係者らが、つながりを生かした多数の署名を集めています。また年金者組合では年金署名と結んで、その他多くの団体では消費税増税反対署名とともに3000万人署名が集められています。

同実行委員会では参議院選挙で安倍政治退陣の審判を下すため、3000万人署名でより多くの市民と対話しようと活動を強めています。

同実行委員会が毎月19日に取り組んでいる「戦争あかん！西淀川ドラムデモ」は5月19日で45回目となりました。この日参加したのは70人。「戦争あかん」「戦争したがる政府は変えよう」などのコールに、ペラダから声援が飛び場面もありました。同実行委員会のデモは、毎回集合場所とコースを変えて実施するきめ細かさ。今回は同区姫島地域で行いました。

埼玉県

オール埼玉総行動

——1万2000人が3000万人署名完遂の決意

6月2日午前、さいたま市北浦和公園でオール埼玉総行動集会が開かれ、1万2000人が参加し、集会後2コースのパレードを行いました。**オール埼玉総行動実行委員会**の呼びかけによる1万人規模の集会・デモは2015年5月31日の初回から今回8回目の取り組みです。

集会では国際ジャーナリスト・九条の会世話人の伊藤千尋さんがスピーチ。後援団体である埼玉弁護士会会長、連合埼玉事務局長、埼玉労連事務局長があいさつしました。

野党からは、枝野幸男立憲民主党代表・衆院議員、大島敦国民民主党埼玉県連代表・衆院議員、塩川鉄也日本共産党衆院議員、福島みずほ社民党副党首・参院議員が発言しました。

3000万人署名をやり遂げよう—会場の決意

主催者あいさつに立った小出重義実行委員長・弁護士が、「3000万人署名を必ず集めきろう」と呼びかけました。またあいさつの中でも、参院選に向け、1人区で野党統一候補が勝利するためにも、埼玉で野党が多数をとるためにも3000万人署名運動で対話を広げに広げようとの訴えもありました。

さらに「6・2 オール埼玉総行動アピール」では、「3000万人署名到達に向けて取り組むことを表明します」と宣言、参加者全体の決意となりました。

山形県

宣伝カーの「憲法前文」の歌声バックに全戸訪問

——米沢地域

米沢地域で、2万人の署名を集めようと昨年4月、13団体の参加で結成し、9のつく日のスタンディング、概ね月2回の全戸訪問署名活動を続けている「**平和のつどい実行委員会**」は、5月25日、米沢市西部コミュニティーセンター周辺の世帯を回り、3000万人署名を訴えました。

この日の行動では、「日本国憲法前文」のうたごえを宣伝カーで巡回し、それを背景に2人組で署名行動を取り組みました。ある組は23軒訪問し、16軒で対話、12人の署名を得ました。「戦争だけはやんだ」「安倍総理は困ったもんだ」などと対話になりました。

青森県

「全戸回って集めた、これからも」と署名届く

——下北地域九条の会

青森県むつ市など1市1町3村で活動する**下北地域九条の会**は、18年2月以来現在までに、延約200人が2人1組でこつこつと各戸を訪問、3000万人署名を取り組んでいます。5市町村全地域を回りました。

同地域には海上自衛隊大湊地方隊が置かれ、自衛隊員やその家族も多いこともあり、街頭やスタンディングだけでなく、各戸訪問での対話を特別に重視しています。その中で、家族に自衛隊員がいて、心配だという人とも対話になっています。こうした九条の会などの活動がじわり広がり話題になっています。最近では日本会議が集会を開くなどの動きもあり、改憲をめぐる激しい対決状況も生まれています。

「これからもがんばらなければ」と決意が表明されています。

6月4日には、この間の成果である署名現物2262人分が事務局に届けられました。

東京都

15歳の青年も署名

——調布市民の会が53回目の宣伝・署名行動

戦争はいやだ調布市民の会は6月3日、調布駅前前で25人が参加して宣伝署名行動を取り組みました。行動は13時から1時間、寄せられた署名は66人分。同会の署名累計は1万3745人分となりました。

通りかかった6人連れの青年に声をかけたところ、最初は怪訝そうに近づき、署名板を囲んでいましたが、「戦争に引っ張られるのは君たち若者だよ」などの訴えに耳を傾け、その中の一人が「分かりました」と署名、他の仲間は「署名なんかしてやんの」などと茶化し、逃げるように離れてしまいました。しかし、その中の一人が戻ってきて署名。この赤シャツのカッコいい青年は15歳、青年たちの戸惑いと勇気を見た、行動参加者は、感動と若者らへの働きかけの大事さを確認しました。

上記の累計には、この日Sさんから届けられた225人分が含まれています。Sさんは仕事を終えて夜、住んでいる住宅を一軒一軒訪ね、自らが同じ住宅の住民であることを名乗り、訴えています。（東京革新懇mailfaxニュース906号/6月4日から）

北海道

「朝宣スペシャル」で3000万人署名

——札幌市中央区実行委員会

札幌市の「**STOP 安倍政治中央区実行委員会**」は5月31日朝、幌平橋で宣伝しました。宣伝には新社会党札幌圏総支部書記長や日本共産党札幌市議らが参加、3000万人署名への協力を呼びかけました。

同実行委員会は、これまで通学する高校生らを対象に、月1回行っていた「朝宣幌平橋スペシャル」に、月2回の「朝宣スペシャル」を追加し企画、また続けてきた月1回の大街宣も6月から月2回取り組むことにしています。

東京都

8回目の戸別訪問、駅頭分含め500余の署名提出

——杉並市民アクション

9条変えるな！杉並市民アクションは、6月8日、9日10時から地域での署名活動を行いました。8日は5人が参加して署名用紙と署名への協力を訴えるチラシを配布、9日は戸別訪問の署名活動に取り組みました。この日は4人が参加、区立住宅136世帯を訪問しました。53世帯で対話、26の署名が寄せられました。前日に配布した用紙に書き込み、待っていてくれた方が9人もいました。一人はカンパもしてくれました。同アクションは、杉並区内の駅頭などでの宣伝・署名活動とともに戸別訪問を繰り返しており、今回が8回目。戸別訪問活動の累計は2059世帯を訪問し、在宅世帯が938世帯、363の署名、参加者は延べ79人となっています。このほど未提出分503の署名を全国市民アクションに届けました。

東京都

「安倍9条改憲阻止」雨の中、署名呼びかけ

———憲法共同センター

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同

センターは6月7日昼、9団体の18人が参加し、新宿駅西口で宣伝、弁士が口々に3000万人署名の意義と協力を訴えました。毎月9日の「9の日行動」を繰り上げて取り組んだものです。大雨の中、署名板での署名行動はできませんでしたが、小田急百貨店前では2枚の横断幕を掲げスタンディングを行ないました。

宣伝には自前のプラカードを掲げて飛び入りで参加した市民や段ボールに手書した宣伝グッズを横断幕横に提供した市民もいました。

青森県

毎週行動する県九条の会———八戸では朝市で

青森県九条の会は6月5日、13日と毎週、青森市新町商店街で3000万人署名を取り組んでいます。

対話がはずみ、「安倍首相には正しいことが通用しない怖さがある、早く止めないとだめだ」、「国民の声を聞かないから、自民党が参院選で負けるのを期待している」、「安倍首相は独裁だ」などと語りながら署名に協力してもらいました。中には、「高齢で署名するのに時間がかかるがいいか」と断って椅子に掛け、ゆっくり署名する人もいました。

戦争法廃止を求める三八連絡会は6月9日、八戸市館鼻岸壁で行われる「日曜朝市」で3000万人署名を訴えました。

早朝6時30分からの行動には14人のメンバーが参加。1時間の行動で寄せられた署名は145人にのびりました。「安倍首相には一刻も早くやめてもらいたい」の声が寄せられ、観光客も署名するなどにぎやかな行動となりました。

同会は戦争法強行を忘れないと「19日行動」を続けています。6月19日には八戸市三日町交差点で、新しく作成した横断幕「戦争の廃止を！安倍9条改憲NO！若者を戦場に送らないために」を掲げ、3000万人署名を呼びかけました。

京都府

人口3000の地域で1884の署名

———福知山市三和町

「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」をすすめる三和の会

は、6月27日までに三和町内で1044人、その他の地域の分840人、合計1884人を集めています。

福知山市三和町の人口は約3000人、住民の過半数を得ようと考え、そのためには「9条改憲反対」のすべての人たちの賛同をと、思想信条、宗教の違いを考えず、地域に影響力の強いと思われる方がたに先ず訴えました。

三和町の元自治会長、元信用金庫支店長、現文化協会会長、元京都新聞中丹地域支局長、元朝日新聞記者、元建設会社会長、元小学校長、茶道・着付けの先生、外国人専門の民泊経営者、世界一高いブランコ（ギネス認定）がある「ダッシュ村」副村長、ブドウ生産者、ブドウ組合組合長、書道家ら25人に呼びかけ人になってもらい、三和の会が2018年3月発足しました。

署名を集める人の輪も広がり、50人をこえています。300人以上の署名を集めた人もおり、5人が100人以上集めています。「統一行動」として地域に集中的に入る行動も9回となり、毎回60人前後の署名が寄せられています。

■ ■ ■ ■ ■ 当面の主な行動日程 ■ ■ ■ ■ ■

■ 7月3日(水) 18:30～

名称：市民連合7・3新宿西口街頭宣伝

場所：新宿駅西口

主催：安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合
戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会

■ 7月19日(金) 18:30～

名称：安倍9条改憲NO！辺野古新基地建設断念！

年金報告書隠すな！参院選勝利！国会議員会館前行動

場所：衆議院第2会館前

主催：戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション

■ 7月22日(月) 11:00～

安保法制違憲訴訟(差し止め)第11回裁判：東京地裁

■ 7月25日(木) 10:30～

安保法制違憲訴訟(国家賠償)第11回裁判・結審：東京地裁